



# しらかわ 報 廣

人口の動き	
— 10月1日現在 —	
男	5,831(0)
女	5,997(0)
計	11,828(0)
世帯数	2,586(-4)
( )内は前月との比較	

発行/川西町役場 編集/企画室 定価/1部5円 印刷/白南風社



**交通安全** 学校の校庭で、体育祭特別出場の予行練習を終えた園児たち。帰りの列が横断歩道にさしかかったところをカメラに収めてみました。(10月3日、上野保育園前の県道で)

## 行事

- 十月
- 十四日 議会産婦委員会
- 十五日 青少年のつどい郡市大会
- 十日 町市民体育館で一時から。
- 十六日 消防幹部会
- 二十一日 農業委員会
- 二十三日 国鉄信濃川発電開始、同千手発電区開所三十周年記念
- 式典、十一時から千手で。
- 二十四日 ニシキゴイ品評会
- 二十七日 移動献血車一ゆらあい
- 身一來町(役場前)
- 二十八日 民生委員協議会
- 十一月
- 二日 信濃川発電工事完成記念祝賀会、十一時から千手小学校体育館で。九時半から約一時間の予定で町内見物バスも運行する

## 町政コーナー

九月十九日に招集された町議会は、改選後初の定例会として活発な論戦が展開された。特に新人五人を含む九人の議員によって行なわれた一般質問は、別面掲載のとおり多彩をきつめたものであった。基盤整備事業、学校統合問題、豪雪対策、道路整備、観光事業、出かせぎ対策から十日町合併に至るまで、それぞれの問題点やこれに取り組み町の姿勢が、議員の質問とこれに対する町当局の答弁という形で町民の前に浮き彫りにされた。

十月七日から石浜開発公団が地下資源調査を開始した。その区域は、信濃川をはさんで国道二五二号線の沿線であるが、川西は小根津付近から松葉沢の入口付近までの約二キロである。調査の方法は、地中で火薬を爆破して人工地震をおこし、その振動波の反射を利用して地下の地質状態を調べるもので、これによって地震構造断面図を作り

石油及び構造性天然ガス鉱床の可能性を推定するのが目的であるという。隣接小千谷市の孫四郎地区では目下道産省直轄で石油井を掘削中であるが、この地帯は焦油層という地層で、かなり有望だということである。町でもこの調査には労務者へのせんその他協力しており、その成果が期待されている。

秋は、運動会とともに学校研究会のシーズンでもある。ことしは、九月十日上野小学校の体育研究会を筆頭に、同二十九日福小理科教育研究会、十月三日仙田小少人数学級研究会とつづき、最後に十月八・九日の両日千手小学校で学校保健研究大会が開かれた。それぞれの研究会を担当する主催者、発表者の苦心のほどは、そのりっぱな資料を拝見しただけでも推察される中でも昨年健康優良全国特選校となった千手小の場合は、県教育委員会、県学校保健会等の主催で、特別の趣向を凝らし、この種研究集会の新しいあり方を三み出す契機となることを期待された盛会であった。(M)

# 議会(九月)定例会 九氏が一般質問に立つ 一般会計など補正予算三件を可決

第八回町議会定例会は九月十九日に招集され、冒頭行なわれた一般質問に引き続き、一般会計など三件の補正予算を議決したほか、農道新設関係の請願三件をいずれも産業経済委員会に付託して閉会した。なお、注目の一

## 雪害対策費に 五十七万円を追加

町政に対する一般質問のあらましを伝える前に、この定例会における議案審議の内容をとりまわとめてみると、おおよそ次のとおりである。

まず、昭和四十四年度西町一般会計補正予算であるが、これは三回目の補正になり、歳入歳出にそれぞれ一千五百五十三万一千円を追加するもので、原案どおり可決された結果、一般会計の予算規模は三億五千八百三十五万四千円となった。

次に、その補正のおもな内容をあけてみる。

歳入については、金額の多い順から、地方交付税六百四十六万八千円、町税五百二十五万九千円、県支出金二百五十一万五千円、町債百万円、寄付金十四万九千円、分担金及び負担金と国庫支出金が各七万円、以上で、いずれも補正増である。

歳出では、大口だけをあげてみると、総務費で百二十三万四千円

を補正減したほかは、衛生費二百二十万八千円、農林水産費二百五十二万五千円、土木費六百六十五万三千円、教育費百四十八万六千円、災害復旧費三百四十二千円を各補正増したものである。

この歳出の補正増部分の中身では、月見が原遊園造成に五十万円、千手簡易水道特別会計への繰入金百三十一万二千円、県道のトラクタ、共同防除機導入補助金がそれぞれ、農業振興費の百四十七万一千円、県管かんばい事業調査費約五十万円、消雪パイプ関係やブルドーザー借上料などの雪害対策費五百七十七万円、学校の各種研究費五十万円等が目をひくものである。

## ほ場整備の後にくるもの 余剰労力をどうするか

一般質問のものは次のとおりである。  
平野圭二氏 東部地区の基盤整備は、町総合開発計画の中核をなす事業であり、すでに実施段階をむかえて、この事業に対する町長のかたい決意とすぐれた指導力に期待する。ついで、町長は町内に限らず、町外からも経験者、有識者を求めて事業を推進する考えはないか。また、②河川改修との関連について、かたや農林省、他方は建設省というようにその所管が異なるので、これを実施する際の各種問題解決には高度の政治折衝が望まれてくるが、その具体案を作成する必要はないか。

## 請願三件は 十四日に継続審査

一般会計のほか、国保事業特別会計と千手地区簡易水道事業特別会計についても、それぞれ最初の補正案が提出され、両会計とも原案どおり可決された。

国保事業会計の方は三百三十八万八千円を追加して、予算規模は

八千五百九十五万三千円になったが、これは繰越金の関係で、歳出の横立金に三百万円、残りは予備

費にまわされることになった。水道会計については、一般会計からの繰入金を追加したもので、同じく予算規模は七千二百六十八万二千円になったもの。補正の理由は、いままでも一般会計の総務費に盛っていた職員給料等を組み入れることにしたためである。請願関係は、「小白倉部落西の人糞道に関する請願」、「菅沼農道開削に関する請願」、仁田上の原に通じる「農道助成に対する請願」の三件が提出された。

この三件とも、付託された産業経済委員会で継続審査となるが、その委員会は十四日に開く予定である。協議会にはおはかりしたり、県とも話し合ってきた。しかし、町外からという、いわゆる技術者ということになるが、県にも担当の技術者は多くそのうえ、町では各関係者が熱心に取り組んでくたさるので、無理に入れなければならない状況にあり、いまのところその考えはない。

河川改修との関係は、両者が同時に進められることが望ましく、そのための調整が必要なことはいうまでもない。建設、農林両省の調節を図るため、企画庁が調節費をもっているということなので、それらを獲得して事業をすすめるのが得策であろうと思うし、いまから研究してゆく必要がある。

丸山企画室長 十七室三千六百万円を要する県管かん排・ほ場整備事業のポイントは、やはり労働力不足の問題であり、この事業によって余剰労働力を生みだすことができれば、それがすでに最大の効果でさえあると見られる。

## 河川改修との 関連

根津町長 農政の転換を伴って進んでいる現状であるが、ますます深刻化する農業労働者の減少傾向や所得のバランスを図るために、基盤整備による、ほ場の近代化はどうしても必要である。このような大事業をやりとけるには、人を得なければならぬのは当然のこと、昨年来、議会や

観光町におけるスキー場の開設も課題として取り上げられる。



**赤**  
キが目だつようになり、秋も深まってきました。山の初雪のたよりさえ聞くと、はた寒さを感じます。

**ど**  
うも、机を並べた職場のみなさんに、かぜのけはいて取られます。毎日が多忙な町民のみならず、かぜにかかったら無理をせず、一口くらいはゆっくり休養してください。「万病のもと」といわれているように、かぜのような症状から始まる重い病気だつて多いのです。用心にこしたことはありません。

**こ**  
れからは、なべ料理の季節です。カキ、イカ、あるいはたらを主役にしたなべ物は、お年寄りから子どもまで大歓迎のこと受けあいですが、いすれも、とうふ、ねぎ、キノコ、白菜、シメジキなどと取り合わせ、だし汁、しょうゆ、さとう、酒少々で味をつけた「割り汁」で煮ながら食べれば、栄養も豊富、からだも暖まります。

**文**  
化というものは、広辞苑によると「世の中が進歩し文明になること。ひらけること。文明開化。…」とありました。十一月三日はその文化の日です。こはを實際に照らして理解し、受け止めてゆくのはなかなかむずかしいことです。

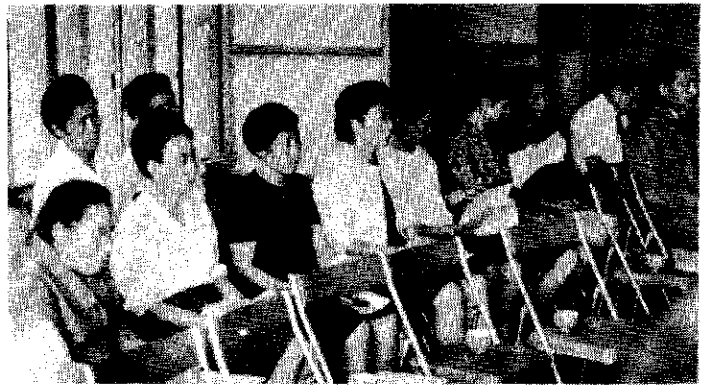
### 合併 研究をしてゆく段階 問題

#### 学校統合は時期を再検討

出かせぎについても、その合理化を図るとい立場で考えていくが、專業農家の育成とならんで兼業化の問題も重要であり、道路整備によって通勤圏の拡大を図らなければならぬと考へる。

計画の中では、現在反当百五十時間程度の水田耕作努力を、完成後は五十時間ほどにゆきかたいていしているが、その結果浮いてくる約十三人分の手間というものを有効に活用すれば、農家が負担しなければならぬ事業の賦課金や償還金の返済可能な計算ができるのである。

したがって、初めて作られた総合開発計画、その中心となる基盤整備事業は、その後に来る第二次構造改善をも想定して、よりよく推進してゆく努力が必要となる。



9月定例会の一般質問を傍聴する婦人会のみなさん

に統合するという教委案だと、時期や方法にいささか無理がある。橋中の場合、道路整備が先決で、現状のまま統合したのでは、交通網や悪条件下の通学による学力低下が懸念され、仙田中については、名目統合によって校長不在の分校教育をするより、施設等の面で、生徒が実際に川西中で学ぶことのできる日まで、仙田中を存続させるのが望ましいではないか。

根津町長

観光協会の 充実が必要

中村金作氏 町民が、年にシジャーのため町外におとす金額は多人であると考へる。町で観光事業を振興し、その一部でも食い止めることができれば意義は大きい。温泉もなく、特産等もわびしいが、それも研究いかんであり、採掘には恵まれていない。

七月に観光協会が発足したことであり、観光面で、近い将来実行可能な振興策はないか。また、節黒城付近等に、わかし湯や飲食店経営などで投資家がでた場合、使直を返してやる用意はないか。

根津町長

強化してゆく 出かせぎ対策

長谷川福松氏 出かせぎが不必要になるのが望ましいけれども、その不可能な現在、出かせぎ者の保護や組合を作ることにより努力してほしい。現状はどうか。また松代町同様、往年年にバスで帰省の便を図るような考へはないか

根津町長 出かせぎ者の保護には意を配ってゆく。役場内に相談所を開設して相談に乗っているが、縁故によるかたが多く思うに、まかせない点もあるようだ。最も安全であるという立場からグループ出かせぎの形態を呼びかけているし、就労条件の向上等も留意している。又集などにより連絡を絶やすことのないよう、また出かせぎ先での移動青年学級等も継続、強化する考へである。

数藤 巨氏 十日町市との合併について、数年前は合併促進の気運が見えたが、いまはまったくその動きがない。こんど、広域行政や労働力の吸収といった問題から十日町との関係はいつそう密接となるが、合併という問題は、当然、町民の意思によるとしても消極的態度でいたのでは気運は遠のくばかりである。

町長としては、合併促進の意思があるかどうか、あるとしたらどのような方法で取り組むか、ないとしたらその理由はなにか。

数藤 巨氏

町長 当方の意思で早期合併という方向でなく、なるべく奥の方針に添ったゆき方をとるといように理解してよいか。

根津町長 また、研究をしなければそういった結論はだされない。十方都市を郷土の夢として、その実現を期待している。

杉本教育長

田、白倉を順次回って地元と懇談した際にも、異口同音に出たのが指摘の点であった。その後、数回にわたりあらゆる角度から反省をしているが、いまのところ、明年四月一日統合の線を白紙にかえしたわけではないが、再検討の必要があると思へている。

根津町長

観光協会 観光協会を強化してゆく

中村金作氏 観光協会の強化について特に考へはないか。

根津町長 会員の増加を

#### 再合併であるという問題点

#### 根津町長

合併問題の経過については、合併特例法の要請に基づいて、県が合併促進を働きかけたいくつかのうちに当町と十日町市の合併があった。四十年五月二十五日に双方の代表が県庁に招かれて話し合っているが、当時の報道によると、「気持の上では近

根津町長

わたくしは、その後の町民のほつきりした意思表示を聞いていないが、町議選で多数の町民の要望がうかがわれたということは聞いている。しかし、合併促進法によって合併した市町村が、再合併するといふのはなかなかむずかしいことであり、全体の意見の調整を図って、まず町をしっかりとつなげてからふみきるべきだと考へる。

合併をするなら、地理的、経済的にも、交通通信の面からも十日町との合併が常道であると思つての本郡市、松代、松之山の広域

須藤寛蔵氏

学校統合は 町の急務

学校統合について、明年四月をもって橋中は実質的に、仙田中は名目的に川西中

中村金作氏

豪雪地救済と 無雪道路の問題

小林与作氏 当地の宿命的豪雪は、交通をはじめ、生活全般にわたって住民に多くの損失を与えている。現存の積雪法に数倍するほどの救済が必要と思つるが、

根津町長

観光協会 観光協会を強化してゆく

中村金作氏 観光協会の強化について特に考へはないか。

根津町長 会員の増加を

雪道の首長間の、そのような立法の動きの有無と、町長自身の取り組み方、姿勢はどうか。次に、昨年の無雪道路対策は前年より退歩の感があったが、これは、これをどう進めるのか。また、土木課長には、本年度の無雪道路区間の構想をうかがう。

### 法律の活用と

#### 除雪協議会の協力

根津町長 現存の法律を生かしていき、いま生きている法律を活用して、予算をたくさん取れるよう努力している段階であり、市町村長間で、他に立法化という話し合いの事はない。交付税の増高、積算道路の指定拡大、国の負担率増加、公共施設の除雪費補助等、おりにふれ、特に応じて運動し、過疎地帯対策特別措置法や県単の振興策にも望みをかけて、現在の法律の中で、豪雪をもっと強く見てもらうよう努める。

### 広域市町村圏と 町村合併の関連

田中三郎氏 国の広域市町村圏構想は、市町村合併にまで至るコースを見おしているように思われる。町議選にあたり、相当多数町民の声として、広域行政の必要と、一歩進んで町村合併の問題に真剣に取り組みべきだといふことが要望され、任期中四か年がその時期とさえいわれている。これに対し、町長は、広域行政はあくまでその範囲内で収めればよいと考えるか、一歩進んで合併にまで拡大すべきか、合併の話し自身から合併を話しかける気が見えがあるかどうか。

根津町長 広域市町村圏の趣旨がらっぱに運用できれば、住民は、自市町村単位のキメ細かな行政とならんで、時代とともに増大する広域生活圏の中の明るく豊かな生活を確保できる。近隣との合併気運が盛りあがっているというお話しも、地域構造や経済成長のしからしむる点であると考える。このような大問題は、自治体間でも正式な話し合いの前に数回

の談合があるのが常道で、いきなり、イエスノーかというような対応策は考えなくてもよいのではないかと。

田中三郎氏 四十年にすぎない間に水を向けられているその時点からは双方とも研究するということであり、十日町市議会では時々町との合併が質疑答弁されている。したがって、放っておくべき問題ではないのだから、話しかけの問題をみなさんに相談するぞ、というくらいのはっきりした線は打ってほしいが。

根津町長 話しがくるにしても、その間の交渉が幾多なければならないと考える、そのような段階で、ある程度状況を察知できるので、研究的なものを作つて研究する必要があり、町としてのゆき方について、相談してもらわなければならないというように考えている。

(学校統合)

国・県道の整備

水品正一郎氏 中学校の統合問題について、橋、仙田および白倉で懇談を重ねた結果、三地区とも基本的には賛成しているけれども、やはりごそって通学の不便をとりあげ、道路整備を統合の条件にしている。

そこで、現在の道路整備の進みぐあいでは、教委とありの統合は困難と思われる状況から、国道

の上野・中仙田間、県道の上野・原田間、野口・白倉間はいつごろまでに整備が終るか。町長としては、道路整備が終るまで統合を見合わせるのか。または、無理をしても計画どおり統合を進められるのか。

根津町長 道路整備は四十五年の二か年で小千谷、千手、十日町の舗装を完了するようにはしなければならぬし、国道は、明年中に着手するなら四十八年ごろには相当工事が進むのではなにかと考えられる。

バスが通っている所は、統合が絶対不可能という状況ではないと思うが、橋の場合でも、通学距離が六キロを超える地区があり、こ

そって反対だというのが押し切られて統合するのも好ましいことではない。関係者の意見を求めて、その

元町 押木タケノ

九月定例会を午前中だけで済ませたが、こんど町を建設していくうえで、町長さんや新しい議

会のみなさんがどのようなお考えでいるか、関心と同時に期待をも

って属に着きました。

以下、一般質問を拝聴した感想を述べてわたしの傍聴記にいたし

たいと存じます。

さぞかし緊張したふんい気だろうとは予想しておりません。しかし、終然と落ち着いた中にも、終始、なにか暖かいものを感じさせ

れによって判断しなければならぬので、教委からの報告をよく検討し、議会と教委の合同会議にはかつて態度を決定してゆきたい。

千手ずい道 前後の県道舗装

村山義雄氏 町で最も交通

繁多な小千谷、千手、十日町の

浅河原・稲葉間が非常に悪い状

況で、町民も困っている。町の区

域ではないけれども、この間の舗

装が早期に実現するよう努力して

ほしいと考へ、ご意向をうかがう。

根津町長 あの区間は、

いわゆる町の玄関口として、車の

交通も一日三千を突破するとい

われている。舗装については、来

年ぜひ実現するよう努力するし、

ンネルも、県ではできるだけ早く

するような一答がつづき、頼も

しく感じられました。

道路行政については、文化の象

徴ともいわれるように、その整備

を進めるのが郷土建設の第一歩で

はないでしょうか。道路の整備、

が労働いたしました。初めての経

験でしたが、こんど町を建設して

いくうえで、町長さんや新しい議

会のみなさんがどのようなお考え

でいるか、関心と同時に期待をも

って属に着きました。

以下、一般質問を拝聴した感想

を述べてわたしの傍聴記にいたし

たいと存じます。

さぞかし緊張したふんい気だ

らうとは予想しておりません。し

かし、終然と落ち着いた中にも、

終始、なにか暖かいものを感じ

させ

改修するよう計画である。

とにかく、へき地後進地域は道

路整備によってかなりの部分の問

題が解決する。他町村に比べて相

当ひけをとっていた整備量も、各

方面のご協力によって差を縮めた

だけでなく、ことしあたりはむし

る上回ってきたようだ。

直接、県にお願ひしたり、十日

町市にも働きかけてきたが、ふた

つの市町の利害がかかってくるの

で、村山市長を会長に、わたしく

が副会長の「主要地方道小千谷、

千手、十日町線改修期成同盟会」

を作っている。ことしも、この同

盟会で県にお願ひしたところ、ト

ンネル工事計画でまだ研究の

余地が残っているが、その前後の

道路舗装については、四十五年中

に実施という、県の予定を確認し

ている状況である。

も、一日でも早く完成するように

ご努力がたいと存じます。

合併の問題はむづかしくて、わ

たしにはよくわかりませんでした

二議員から質問のあった学校統

合の問題は、子どもたちの将来を

考えたら、いろいろ問題はあ

りそうが早く統合して、施設のよ

いところで大げいの生徒がいっし

よに学ぶことこそ、これからの社

会を築く基礎としてたいせつです

から、どうか勇気をもって推進し

ていただきたいのです。

観光事業について、けっこうな

ことづくめで楽しく拝聴いたしま

した。ただ、交通不便な土地だけ

に、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな

ら、客の誘引さえうまくいくな



元町 押木タケノ

千手の本通り

本年中に片側駐車禁止になります

県道小千谷、千手、十日町線のうち、貝喰橋から川西中までの約千八百メートルが、県公安委員会の指定によって、本年中に片側駐車禁止になります。

奇数日と偶数日によって、西側と東側が交互に駐車禁止になるものです。道路の正しい使用にご協力をお願いします。

川西町交通対策協議会

町道の占用も許可制に

三年ごとに手続きを

道路法によると、国・県道はむろんのこと、「町道」の占用をする場合も許可を受けなければならぬとされています。

たとえば、道路にパイプを埋設するとか、雪たなをかけるとか、露店を出す場合などがそれにあたります。

いままでは国道と県道の場合だけ、県知事の占用許可を受けて使用することになっていたのですが、こんど、町道にも適用することになりました。

日増しに激しくなる交通量と車両の大型化、そして除雪を実施するため、道路下に埋設してある横断管(ヒューム管、土管類)に損傷を与えることが多く、そのつと、補償や復旧に日時と経費がかかっています。

これらをなくすためには、個人月施設、共同施設とも許可制にすることによってその実態をつかみ注意や対策のできるものは事前に検討を加える資料にしたかったので、

こんど、「町道」に管類、パイプ等を布設する場合には「道路占用許可」を受けてから、工事にとりかかってください。

許可申請用紙は暖託員のところにありますから、暖託員と相談して町長あてに提出し、許可を受けると手続きをとってください。

身近な例として飲料水パイプやかんがい用水・排水・下水等の管とか工作物などがあり、道路地下を横断させたり、道路添いに埋設したりするものが該当し、三か年ごとに手続きを更新していただきます。

心配ごと相談所

を開設

相談員に

藤本せんせい

「住民の日常生活上のあらゆる相談に心し、適切な助言、援助を行ない、その福祉をはかる。一ことを目的に、心配ごと相談所が開

設されることになりました。

この仕事を担当する相談員として、伊友の藤本秀雄さんをお願いし、ご承諾をいただきましたのでお知らせします。

心配ごと相談所は、みなさんに困ったこと、悩みごとができた場合の相談相手となります。○経済的に困っている

- 家庭内の問題で悩んでいる
- 子どものごとで迷っている
- 各種の施設にはいりたいがどうしたらよいかわからない

このようなときに利用してください。もちろん、個人の秘密は守られます。

相談には定例相談日があり、原則として、水曜日の午後一時からということで、場所は公民館や出張所になります。

相談日は、そのつと回覧等で徹底してゆく考えですが、さしあたって十月の十日以後の予定は次のとおりです。

- \* 十五日 役場
- \* 十六日 赤岩小学校
- \* 二十二日 橋出張所
- \* 二十九日 農業センター
- 十五日の役場のみ午前九時

町の事業

入札のしよう

- ①は施工か所 ②は請負業者
- ③は請負金額
- ◎千手裏町線改修 ①上新井 ②吉楽土建 ③十五万円
- ◎下平線側溝整備 ①発電所通り
- ②川西建材 ③十二万七千円
- ◎上野三須線舗装 ①上野 ②羽鳥建設 ③七十八万五千円
- ◎清水線改修 ①越ヶ沢 ②三葉土建 ③十九万円
- ◎河川改修家の下川 ①中屋敷
- ②川西建材 ③十二万八千円

「愛の協力」

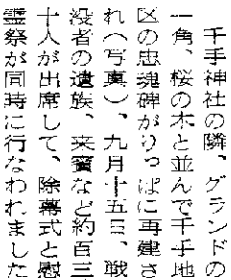
封筒募金の結果

あやまちをおかした人の更生に暖かい手を……と、七月に実施した「社会を明るくする運動」、愛の協力封筒募金の結果がまとまりました。

総額で、九万五千六百七十三円に達しました。

町では、これをさっそく甲魚沼地区保護司会に納入いたしました。みなさんのご協力によって集まったこのお金は、保護司会の活動資金になったり、青少年の非行防止や犯罪予防活動等の面に活用されます。

〔社説〕



千手地区の

忠魂碑

千手神社の隣、グラウンドの一角、桜の木と並んで千手地区の忠魂碑が、九月十五日、戦没者の遺族、菜園など約百三十人が出席して、除幕式と慰霊祭が同時に行なわれました。ことしは、四月一日、第二次大戦が終わるまでは千手神社境内にあったものですが、戦後、占領政策のひとつとして解体されてしまいました。放置したままの運命にありました。

それを、遺家族など関係者が、ひそかに宋行寺の境内に仮設して、毎年、慰霊の行事を続けてきたものです。

「石面に濃くきざまれし戦死者の名をたしかめついと去りがたき」遺族のみなさんの感慨でしょうか。

中央の碑の両側面には、日清日露以後、合わせて百四十六人にもなる戦没軍人、軍属諸霊の名をきざんだ墓銘がおかれています。(Z)

広報スワッチ

# 暮らしと税金

## 家屋を新築した場合

家を建てる時税金はどのようになるのでしょうか。という質問をよく受けます。

そこで、一般的なお答えとして

- ① 賦税では、一回限りの不動産取得税の対象となります。
  - ② 町税の固定資産税額では、新しい建物が対象になりますから、いままでよりある程度、高額な負担となるのが通常です。
- というご返事になるのですが、これをもう少し詳しく説明してゆきます。まず、不動産取得税については、建築した建物の種類や使用目的によって、税の対象としての取扱ひ方に差違が生じてきます。

### 税額の算定は

普通の住宅を建築したときは、特例により、価格から百五十万円を控除した残りの額を課税標準額として税率を適用します。この場合、価格より控除の方が多ければ当然、税金はかかりません。

では、税額を算定する場合に、基本となる価格や課税標準額はどのように計算するのか、あるいはいくらくらいに見積るのか、という疑問についてみてみましょう。

これについては、評定から価格算出までの経緯を説明するのはむずかしいので、実際の建築費との比較から、おおよその価格等の位

### 固定資産税

この課税標準額は、建築費のほぼ三〇〜四〇%くらいに決定しているようです。

決定した課税標準額に、一、八%の税率を適用して税額を算定しますが、一般的には、いままでの古い家屋の税金と比較して、数倍の税額になるのが大半です。

### 不動産取得税

この価格は、固定資産税の課税標準額と比べて、約三〇%程度高

### 納税者の声を聞く旬間

11/1 ~ 11/10

十日町税務署では、十一月一日から十日までを一納税者の声を聞く旬間として、署内見学、税務相談、署長の納税者訪問等の諸行事を予定しています。

この旬間行事は、全国的に行なわれるもので、近づきやすい税務署のイメージ・アップが目的です。どうか、この機会に税に対するみなさんの意見や要望等をたくさん寄せてください。

また、署の玄関先には、納税



(税務課の家屋調査)

者の方を聞く箱を常置しています。(写真)

これも、みなさんの生の声を

税務課の窓から

税務課の窓から、納税者の声を聞く箱を常置しています。これは、みなさんの生の声を聞くための設置したもので、建設的な意見を望んでいます。十日町税務署

税務課の窓から、納税者の声を聞く箱を常置しています。これは、みなさんの生の声を聞くための設置したもので、建設的な意見を望んでいます。十日町税務署

### 水害関係の見舞金等

このほど、八月水害に対する見舞金として、十日町本館から町に五千元が寄せられました。

また、当時、松代町で起きた水難事故犠牲者に、当日消防団が協力した謝礼として、元方からやはり五千元が寄せられております。

### 民俗資料

#### 寄贈者と入手品

【9月分】

- \* 寄贈者(敬称略)
- 須藤善作(仁口) 山口タツ(同)、半藤伊三郎(学校町) 富井トキイ(上野) 佐藤常一郎(霧谷) 高橋清治(伊友) 羽鳥友市(中央町) 滋野定良(野口) 斎大和栄(小瀬) 宮昭一(山野田) 高橋ユキ(田中) 小林与作(中仙田) 計十二名

#### おもな入手品

- 牛のシト、馬のクラ、ざくり、うす、やり木、いざりばた、糸車箱まくら、あんどん、かわらけ、石ざら、木石、小田原ちようちゃん、きんぱん、マツチペーバ、響音器、大震災地図、見習士官の靴など。

### 戸籍の窓から

#### うぶ声—おすこやかに

- |                |                 |                  |                |                |                 |                |                 |
|----------------|-----------------|------------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 田村 一 守平 長男 鶴 百 | 高橋奈津子 幸一 二女 高 倉 | 渡邊 靖子 日出天 二女 新 町 | 高橋富美男 狹 長男 高 倉 | 小海 隆 新一 長男 小根岸 | 相馬 博美 紀義 長女 木 落 | 渡辺 保 昭平 五男 上 野 | 長谷川和美 清一 長女 赤 谷 |
| 梶野千代子 油立 一五    | 教藤 信枝 沖立 一九     | 喜多 サク 四郎兼 五六     | 市川 雄平 平 見 五七   | 梶野千代子 油立 一五    | 教藤 信枝 沖立 一九     | 喜多 サク 四郎兼 五六   | 市川 雄平 平 見 五七    |

#### 昇天—こめい福を祈る

葉のかけに忘れ肥りし秋茄子  
三番のすくそに見ゆ吹日和  
元 町 金子 鉄舟  
稲負うて反動つけて立ちにけり  
寺 尾 白井すみい  
水引の裾に咲きをる竹の春  
松風園 岡 文峯  
コスモスの皆うつむきて阿に濡れ  
国立新潟療養所 片桐 香坊  
天高し療舎のアンテナ光り立つ  
短歌—  
原 田 根津とさ子  
絶え間なく精米機より流れ出つ白  
く温ゆき米のかかりよ

### 町の人事

- 退職 / 九月三十日付  
大房 一 保 (橋診療所長)
- 小川 京子 (健康管理室医務係)



太田白南風選

兼電所通り 小川 越人

葉のかけに忘れ肥りし秋茄子

三番のすくそに見ゆ吹日和

元 町 金子 鉄舟

稲負うて反動つけて立ちにけり

寺 尾 白井すみい

水引の裾に咲きをる竹の春

松風園 岡 文峯

コスモスの皆うつむきて阿に濡れ

国立新潟療養所 片桐 香坊

天高し療舎のアンテナ光り立つ

短歌—

原 田 根津とさ子

絶え間なく精米機より流れ出つ白

## 道路整備

区 分	事 業 量	事業費
改良・改修・補修	16路線 2,667m	1,891万円
舗 装	5路線 370m	
側 溝	1か所 97m	
待 避 所	2か所	

### ◇施工場所

〔改良・改修等〕元町（山手線），坪山（平見線），高原田（山手線），下平新田（下平新田中央線），木落（木落西浦線），田中町（田中線），上野（上野西浦線）越ヶ沢（清水線），高倉（高倉小脇線），同（同），小脇（同），室島（申田線），藤沢（藤沢線），根深（根深線），上新井（裏町線），神社町（神社線）

〔舗装〕三領（三領線），大白倉（万柿坂線），東善寺（下段小路線），岩瀬（部落内），上野（上野三領線）

〔側溝〕発電所通り（下平線）

〔待避所〕野口および仁田

### ◇関係業者

羽鳥建設，吉楽土建，丸山工務所，川西建材，中野建設

### ◇その他

以上のほか，年度内に沖立，伊勢平治，上新井，小根岸，新町新田，霜条の各道路改修，室島および高倉地内の整備を予定。

## 雪害対策

区 分	事 業 量	事業費
消雪施設	消雪パイプ水源用深井戸掘削2か所	215万円

◇施工場所 東善寺および上町

◇関係業者 十日町水道工業

## 河川整備

区 分	事 業 量	事業費
改 修	2河川 37m	38万円

### ◇施工場所

上新井（小沢川），中屋敷（家の下川）

◇関係業者 川西建材

## 農業生産基盤

区 分	事 業 量	事業費
農道舗装	4路線 876m	3,297万円
農道新設	8路線 3,322m	
林道開設	1路線 573m	
農地造成ほか	1か所	
用排水	1か所 470m	

### ◇施工場所

〔農道舗装〕田戸（東山線），岩瀬（原線），室島（しつたれ坂線），元町（中子線）

〔農道新設〕中仙田（古城線），同（猿鼻線），越ヶ沢（きわだくぼ線），藤沢（坂下線），同（大野線），小脇（蓬沢線），同（柳島線），高倉（磯枕線）

〔林道開設〕赤谷（月沢線）

〔農地造成等〕沖立

〔用排水〕中仙田

### ◇関係業者

吉楽土建，川西建材，丸山工務所，魚沼重機，太田開発

## 教育施設設備

区 分	事 業 量	事業費
千手小屋外運動場拡張	2,624㎡	1,153万円
同上屋上改装		
橋小中プール建設(25m×13m)附帯工事とも		

### ◇関係業者

北陸防水，日機装電工，川西建材，川西電気，吉楽土建，藤巻寛治，孫六商店，野沢三郎

## 観光施設

区 分	事 業 量	事業費
野 営 場	給水施設1式，火たき場4か所，張芝300㎡	123万円
遊 園 地	公衆便所1棟，給水施設一式	

### ◇施工場所

〔野営場〕上野節黒城

〔遊園地〕伊友月見が原

◇関係業者 川西建材

## 災害復旧

区 分	事 業 量	事業費
道 路	5か所 73m	1,058万円
橋	4か所(うちつり橋1)	
田	3か所 35a	
水 路	8か所 320m	
頭 首 工	1か所	
その他(保全)	1か所	

### ◇施工場所

〔道路〕原田，大白倉，霜条，坪山，寺ヶ崎

〔橋〕寺ヶ崎，小脇，野口，室島

〔田〕小脇，(2か所)，高倉

〔水路〕小脇，高倉，中仙田，大倉，小根岸(2か所)

南原，赤谷

〔頭首工〕中仙田

〔保全〕大倉

### ◇関係業者

丸山工務所，羽鳥建設，吉楽土建，川西建材

### ◇その他

以上のほか，年度内に室島と野口の道路復旧を予定。

## 消防施設

自動車購入，水槽建設に455万円

## 福祉施設

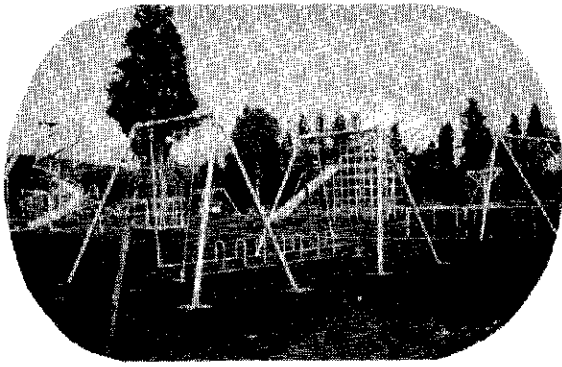
区 分	事 業 量	事業費
児童遊園	整地および遊具設置	200万円

### ◇施工場所

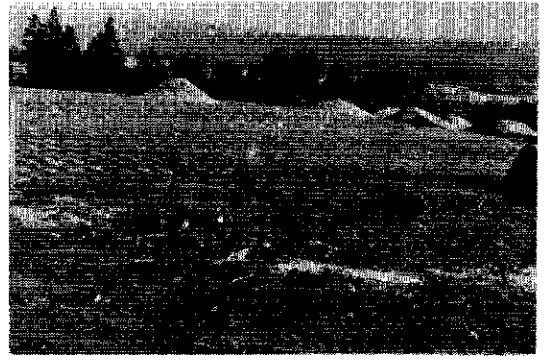
伊友月見が原

### ◇関係業者

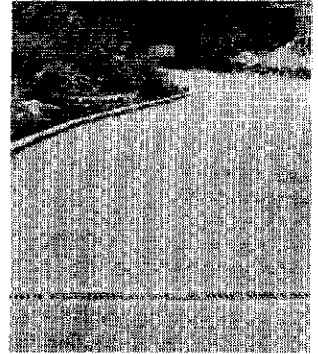
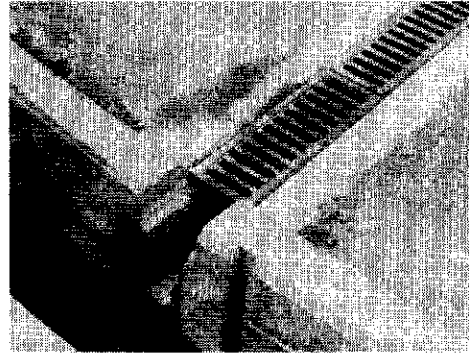
川西建材およびサトミ商会



ひとうきジムなど遊具16基がそろった  
月見が原児童遊園地（伊友）



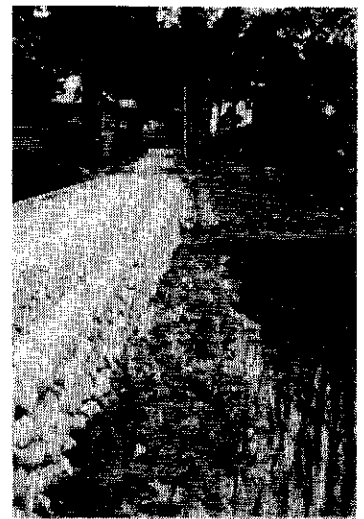
整備の進むキャンプ場（籠黒城）



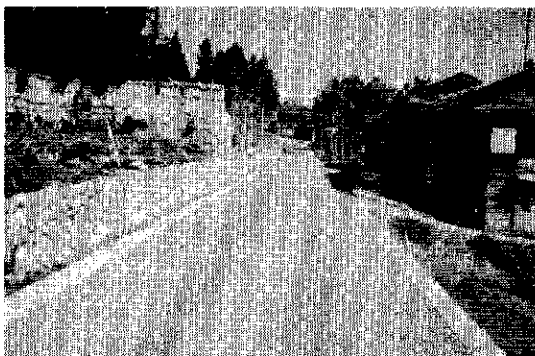
消雪施設を取り入れた下段小路線（東善寺）の舗装



舗装工事（三領線）



山手線の改良（高原田）

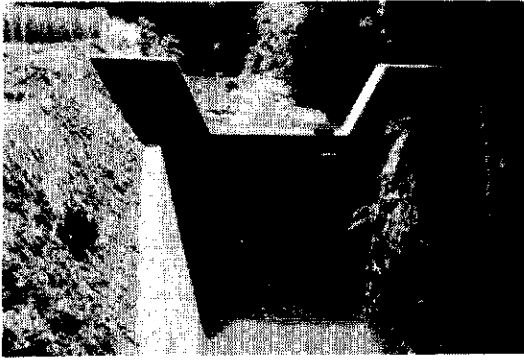


山手線の改良（元町）

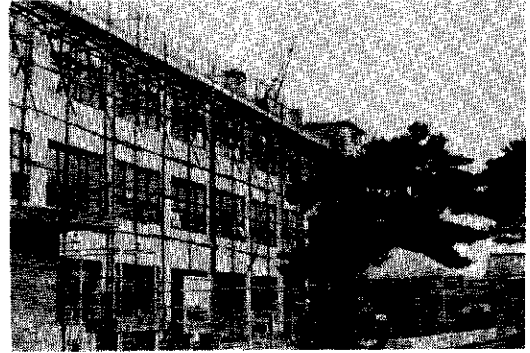


下平新田中央線の改良

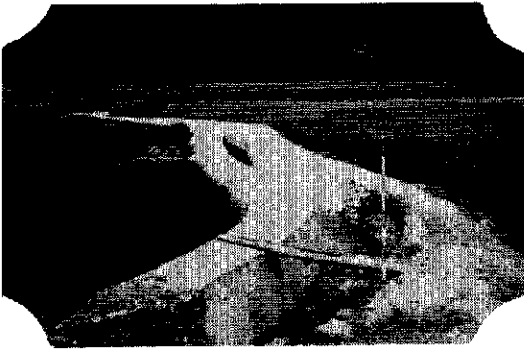




頭首工の復旧(中仙田)



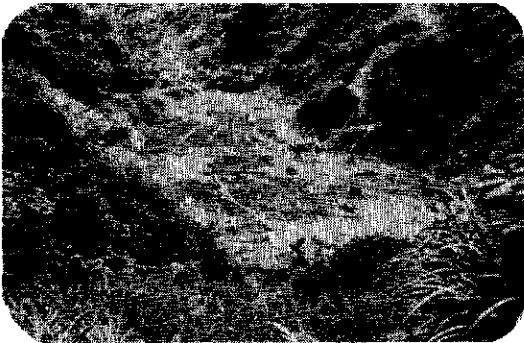
千手小の屋上改装工事



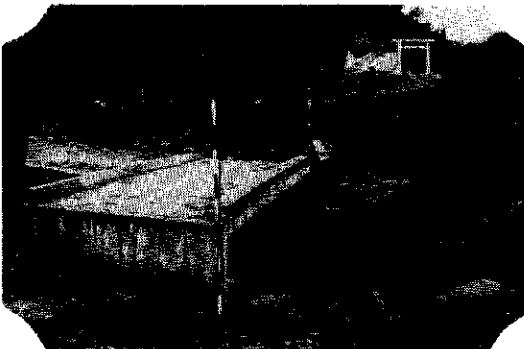
水路の復旧(小根岸)



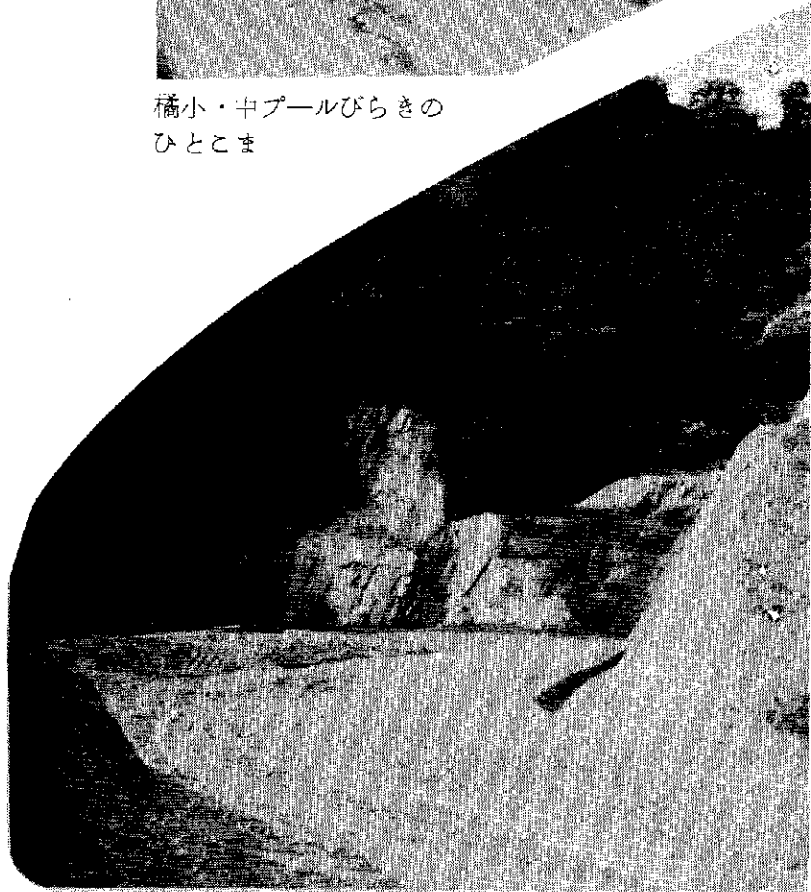
橋小・中プールびらきの  
ひとこま



たんぼの復旧(小脇)



橋の復旧(寺ヶ崎)



一般林道月沢線(赤谷)の一部



道路の復旧(大白倉)



工事の現場(原正の道路復旧)

# 昭和44年度 川西町 合同竣工式

トキ：44・11・9

トコロ：千手小学校屋内運動場



## 消 雪 パ イ プ

冬の最大の課題はやはり無雪道路の確保で、そのため毎年多額の経費が費やされてきた。しかもこの投資、雪消えと同時に、金をかけたという実績は跡形もなく、むしろ、道路やその附近を傷つけ痛めつけてしまうという悲劇的な投資でさえある。

無雪道路の確保には、限りのある予算とキカイ力をいかに有効に使うかがポイントとなるが、消雪パイプもその布石のひとつ、ことし千手地区のもっとも難渋区間300mに布設され、きたるべき冬に備えることになった。

(写真上) 試験散水も上々に 一 四郎兼地内で 一

(写真右) 上町の水源用深井戸掘削現場

